

従業者向け

放課後等デイサービス評価表（放課後等デイサービス ともとも）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	86%	14%	子どもの来所時の導線が安定している。 発達段階や学年に応じて教室を分けていることで、実態に応じた支援を提供できていると感じる。 学習・余暇・運動と活動によって部屋を分けられている。個別課題時は利用状況によって学習スペースが足りない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	86%	14%	適切な見守りや声掛けができています。 その日の児童の状態で手が足りないと感じることがある。また、送迎の関係で、既に来所している児童の見守りが手薄になってしまうことがある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	86%	14%	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	86%	14%	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	子どもたちの気持ちの切り替えをする際に、リラックスマームを使用することが定着してきて、必要に応じて使用できている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	
	7 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	改善が必要な際は、報告や相談を行い、可能な限り対応できている。 職員会議で職員から議題を募り、会議で話しあうことができる。
	8 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	92%	8%	外部の研修なども受けてみたいが、職員配置の関係もあり難しさを感じている。
適	9 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	
	10 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	
	11 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	
	12 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	
	13 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	92%	8%	標準化されたアセスメントに加えて、日々の様子を確認し共有する機会を設けている。 アセスメントについてさらに勉強する必要がある。
	14 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	

切 な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	プログラムを立てるのは個々の職員だが、内容を共有し、チームで動いている。
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	92%	8%	基本は個別活動も集団活動も全員同じ時間帯で行っており、子どもの状況に応じて組み合わせてはない。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝会で必ず集団活動の計画や流れについて共有される。配慮すべき児童の情報や支援内容も支援体制と照らし合わせながら職員間で共有している。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	86%	14%	気付いた点など、その日のうちだけでなく、次の日や気付いたときに共有や振り返りを行っている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	92%	8%	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	
	22	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	
	23	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	活動の中で選択の機会を設けている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	
	28	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者が参加されている。
29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際などに、その日の児童の様子を伝えながら、できるだけ保護者とコミュニケーションを取っている。	
保 護 者 へ の 説	30	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	
	31	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	32	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	面談で説明の場を設けている。
	33	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	

明 等	34	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	
	35	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
非 常 時 等 の 対 応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	緊急用の携帯があることは、非常にいいことだと思います。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者と連携し適切に行えている。
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	
	42	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット発生時にはすぐに共通理解し、紙媒体でも報告し合っている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	